

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

今年の干支は申年です。孫悟空のごとく、躍動し、住民の皆様の  
お役に少しでも立てるよう、職員一同尽力いたします。

今年も当院をよろしくお願いいたします。



院長 滝川豊

## 最近の出来事（10月）

### 第55回全国国保地域医療学会表彰式及び研究発表

10月2日（金）、埼玉県さいたま市の大宮ソニックシティに  
おいて、第55回全国国保地域医療学会が開かれ、当院の滝川豊  
院長が長年、地域包括ケアシステムの推進に貢献した事が評価さ  
れ表彰を受けました。



滝川院長は「医師不足、看護師不足という問題が深刻な能登と  
いう地域で働いていますが、これからも『能登は優しや土までも』  
の精神で地域の特色を活かしながら地域包括ケアに日々尽力して  
まいります。」と挨拶を述べました。

また、桶谷幸子主任看護師、小城亜紀子看護師が「退院スクリー  
ニング票を導入して～導入後の看護師の意識調査から今後の課題を  
探る～」というタイトルで研究の発表を行いました。

スクリーニング票によって退院支援や情報共有の一助になり、退院調整に対する意識の向上に  
繋がった等の研究成果を披露しました。



## 最近の出来事（10月）

### 能都中学校1年生「職場見学」

10月16日（金）、能都中学校の1年生4名が職場  
見学に訪れました。これは、進路学習の一環として、生  
徒達が実際に地元の職場を見学する事で、働く事の意義  
や尊さを学び、今後の進路を考える機会とする為に行わ  
れたものです。



生徒達は森下裕美総看護師長から病院の概要や  
看護師の業務、修学資金制度の説明を受けた後、  
「どうして看護師を目指したのですか」「年間で  
どのぐらいの患者さんが来院するのですか」など、  
さまざまな質問を投げ掛けていました。

また、院内を見学した際には、各部署における役割の説明を担当職員から受ける  
中でも、その時に思った疑問点を話すなど、積極的に病院について学ぼうという姿  
勢が見られました。

## 病院の行事（10月）

### 院内接遇研修会を行いました。

10月21日（水）、23日（金）に「ニチイ学館」  
から講師をお迎えして接遇研修会を開催しました。こ  
の研修会は毎年行っており、今年は信頼を築くコミュ  
ニケーションについて研修しました。



まず、「メラビアンの法則」について教わりました。  
これはコミュニケーションにおける影響力の内、非言語のコミュニケーションがそ  
の半分以上を占める事を言うそうです。その中でも目から入る印象（身だしなみ・  
表情・視線・姿勢）は言葉を交わす前に大きな影響を及ぼす要因であると教わりま  
した。病院特有の悪い例としてはマスクの装着が適切でなかったり、髪の毛が不衛  
生に見えたりする事があげられます。

講義の後は2人一組になって、相手の長所を言い合うコミュニケーションゲーム  
などを行いました。対面していながらも患者様やご家族と同じ方向を見て、寄り添  
う事で新たに気づく事があると、講師の方はおっしゃっていました。

## 理念 「笑顔で心のこもった良質な医療サービスの提供」

### 基本方針

- ・地域住民の人々に信頼される病院を目指します
- ・よりよい接遇と思いやりのある病院を目指します
- ・質の高い医療を提供できる病院を目指します



## 病院の行事（１０月）

### 第２回防災訓練を行いました。

１０月２２日（木）、院内防災訓練が能登半島沖で大規模地震が発生し、大津波警報が発令されたとの想定で行われ、職員約７０名が参加しました。

職員は病棟から入院患者の担架での搬送、消火器の取り扱い体験、重要書類の持ち出しなどを行いました。訓練後、滝川豊院長は「昨年度と同じく津波を想定しての訓練でした。最近、地震や豪雨など日本各地で災害が起こっていますが、幸い、ここ能登町は災害が少なく住みよい所ではあります。しかし、実際に災害が起こったことを想定してこのように訓練しておくことが大切です。常に患者のことを第一に日頃から行動するように心がけて、これからも防災に対応していただきたいと思います。」と実際に災害が発生した際への備えを職員に促していました。



## 病院の行事（１０月）

### 透析室内で避難訓練を実施しました。

１０月２２日（木）、人工透析を受けている患者様、そのご家族、当院職員を対象に「透析スクール」を開催しました。これは当院透析室主催で、人工透析の患者様が日常生活の自己管理ができるように食生活の再確認をするという目的で行われているものです。今回はさらにその一環として、人工透析中に能登半島沖で大規模地震が発生し、大津波警報が発令されたとの想定での避難訓練が透析室内で行われました。



やむを得ず人工透析を中断しなければならない状態になった時の対処法や、患者様を敷いたシーツのまま避難させるなどの訓練を実施しました。実際に透析を受けていらっしゃる患者様にも参加いただいた今回の訓練はより実践的なものになったようです。



## 冬に流行する病気について

多くの人が悩んでいて冬に悪化しやすい病気として「痔」があります。冬になると痔が悪化するの、下半身が冷えて血行不良になり免疫力が低下するためです。また、冬は水分をとる量が減り、便秘になりやすいことも悪化の原因です。また、肉体的な疲れや精神的なストレスがうまく発散できないでいると、排便のコントロールを悪くしてしまいます。

予防策としては、体を冷やさない、適度な水分とバランスの良い食事を摂る、肛門を清潔に保つ、アルコール摂取量をほどほどに抑える等があります。何かと多忙なこのシーズンではありますが、自分なりのストレス解消法を見つける事で痔にならないようにしましょう。

## 最近の出来事（１１月）

### 原子力災害時に対応する県内医療機関向け研修会

１１月３日（火・祝）、コンセールのとにて「原子力災害時に対応する県内医療機関向け研修会」が行われ、当院スタッフも参加しました。

今年に入り、国の原子力災害対策指針が２度改定されたことや、１１月２３日（月・祝）に行われる石川県原子力防災訓練についての説明がされました。また、原子力災害が起こった際のスクリーニングや問診を行う上での注意点が話されました。



あくまでも物ではなく人を検査するという意識を持つ事、バックグラウンド（空間）の線量を適時知らせる事、計測器をラップやビニール袋で養生し、汚染した人の測定後はそれを取り替える事などに気を付けなければなりません。講義に後に行われた実習ではその辺りに注意しながら、参加者を住民に見立ててスクリーニングや問診を行いました。

## 病院の行事（１２月）

### 院内感染予防対策研修会を行いました。

１２月８日（火）、９日（水）のそれぞれ午後５時３０分から、職員対象の院内感染予防対策研修会を開催しました。今回の研修会は、インフルエンザ院内感染予防をテーマとし、製薬会社の方をお迎えして行われました。今回の内容として

・インフルエンザウイルスの特徴 ・手指衛生 ・院内感染事例 ・治療と予防が話されました。その中でも手指衛生に関して、手洗いは「最も簡便で効果的な院内感染予防対策」であるそうです。

- ①石鹼液を適量取る ②手のひらを擦り合せ、よく泡立てる
- ③両手の指の間を、擦り合わせる ④手の甲を、もう片方の手のひらで擦る（両手）
- ⑤指先で、もう片方の手のひらを擦る（両手） ⑥親指を、もう片方の手で包み擦る
- ⑦両手首まで、丁寧に擦る ⑧流水で、良くすすぐ ⑨ペーパータオルで良く水けを取る
- ⑩使用したペーパータオルで、蛇口を閉める の以上が手洗いのポイントになります。



## 病院の行事（１月）

### 仕事始め式

１月４日（月）、午後５時から仕事始め式を行いました。新年の挨拶として持木町長は「何かミスが見つかった時に、『今でも間に合う』と思うのと、『今では間に合わない』と思うのでは大きく違う。『今でも』という気持ちを持って、住民の為に働いてほしい。」と職員に呼びかけました。

